

**ハイテン材対応レベラーフィーダ『SF100H-1』新発売  
サーボプレス『H2FM』とラインナップして高い生産性を実現  
新構造オープナーで安定した通板を実現**

---

コマツ(社長:大橋徹二)の100%子会社であるコマツ産機株式会社(社長:川西宣明)は、コイル幅1000mmの新型レベラーフィーダ「SF100H-1」をこのたび発売しました。

当該機は、搬送能力を高めるとともに、本年3月に発売した新型サーボプレス「H2FM」とラインナップして同期制御を行うことで、従来機比約30%の生産性向上を実現しました。

また、新構造オープナーの搭載により、レベラーフィーダへのコイル通板を確実に行えるようになります。

なお、コイル幅600mm、800mm、1300mm対応機種もシリーズ化し、順次発売予定です。

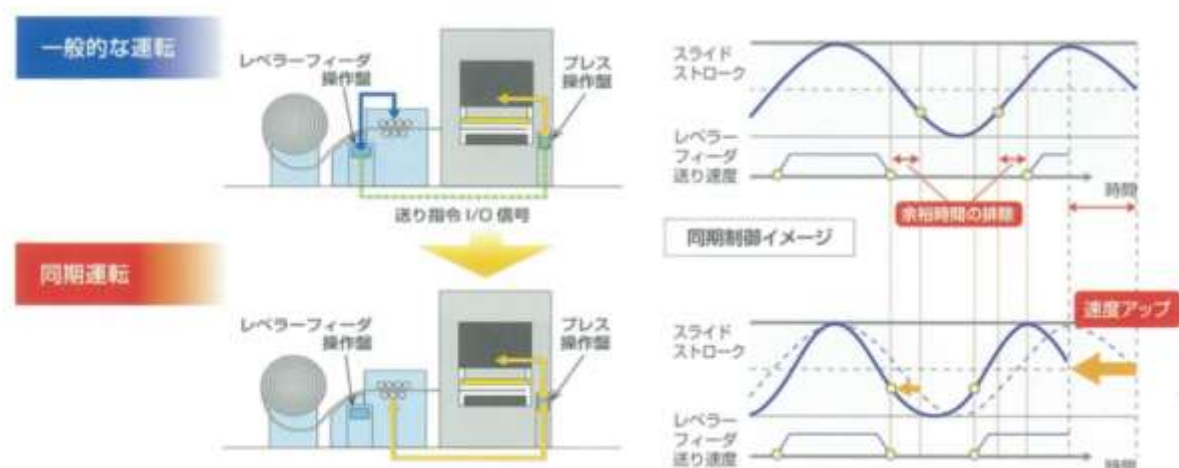
【写真は新発売の「SF100H-1」】



## [主な商品の特徴]

### 1. 生産性向上

- ① 新型サーボプレス「H2FM」の高生産性にあわせ、送り能力を向上させました。
- ② コマツ新型サーボプレス「H2FM」との完全同期運転に対応  
2018年3月に発売した「H2FM」との完全同期運転に対応。プレスとレベラーフィーダが一体となって機能するように設計することで、簡易な操作で高い生産性を実現しました。



### 2. 汎用性向上

薄板 0.5mm～厚板 6.0mm までの広いレンジに対応可能なレベラーフィーダです。

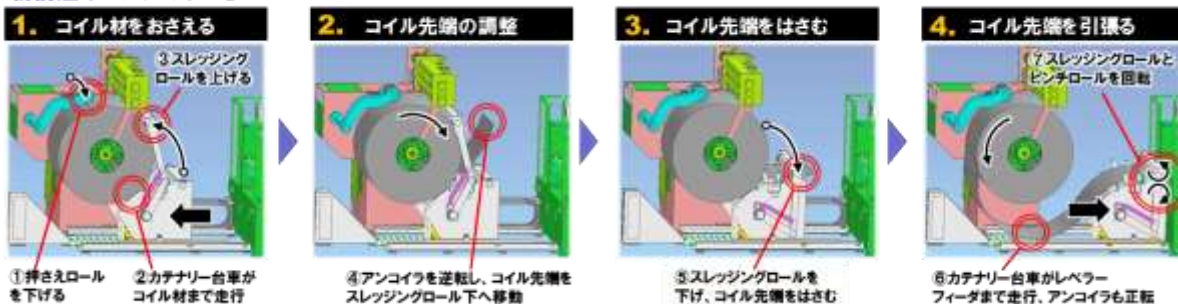
従来厚板仕様では適用困難だった薄板ハイテン材についても、通板のみならず矯正も可能にしました。(1180MPa 材にて、板厚 1mm で幅 564mm まで矯正可能)

### 3. 段取性向上

#### ① 新構造オープナー

自走式の新構造オープナーにより、コイル先端をレベラーフィーダへ素早く確実に通板できます。また、これらの動作を自動で行う自動通板機能は標準で装備されます。

#### 新構造オープナーのうごき



#### ② 自動通板装置 (オプション)

レベラーフィーダから排出された材料を容易に金型第一工程の下型ガイドまで案内する装置です。材料をサポートするテーブルは2方向にアジャスト可能となっており、金型トライ時に2つの軸を調整して型データに保存することで、材料先端が金型直前まで自動通板されます。

### ③ 端末処理装置（オプション）

コイル端末処理のため、チェーン駆動の端末送り機能を搭載。端末処理時にコイル材末端部を押してピッチ送りすることで、端末処理を自動化しました。

#### 【SF100H-1 主仕様】

主仕様	単位	SF100H-1
材質		SPC, SPH, 高張力鋼板
板厚	mm	0.5~6.0
板幅	mm	70~1000
コイル内径	mm	508
コイル外径	mm	700~1500
コイル重量	kg	7000
ラインスピード	m/min	26
送り長さ	mm	500

#### 【商品概要】

【機種名】 SF100H-1

【コイル幅】 1000mm

【発売月】 2018年12月

【公表価格】 6,000万円（国内販売の場合の本体価格）※消費税別途

【販売目標】 20台/年（シリーズ全体にて）

#### ・商品に関するお問い合わせ先

〒920-0225 石川県金沢市大野町新町1番地1

コマツ産機株式会社 営業本部 営業管理部 管理グループ

TEL:076-293-4209 FAX:076-293-4354

URL: <http://sanki.komatsu/>

以上